

令和4年度 守谷市重点事業の概要



守谷市

令和4年度 守谷市の重点政策

「フォープラスワン（4 + 1）」の「もりやビジョン」

重点政策①

「わくわく子育て王国もりや」の実現に向けたまちづくり

重点政策②

「いきいきシニア王国もりや」の実現に向けたまちづくり

重点政策③

「市民王国もりや」（地域主導・住民主導）の実現に向けたまちづくり

重点政策④

「スマートデジタル王国もりや」の実現に向けたまちづくり

重点政策⑤

「王国もりや」の未来創り

を常に進化させながら、加速させていきます。

目次

※総合計画における施策の体系ごとに事業を区分しています。

ひと	地域自治	くらしの基盤
1 多胎妊産婦等支援事業	9 まちづくり協議会推進事業	13 自立・分散型エネルギー設備導入促進事業
2 子育て世代包括支援事業	10 市役所庁舎増築・改修事業	14 避難施設整備運営事業
3 オンライン英会話	11 おくやみ窓口事業	15 消防施設整備事業
4 フリースペース支援員配置	12 DX(デジタルトランスフォーメーション)推進事業	16 交通安全施設整備管理事業
5 御所ヶ丘小学校屋内運動場改修事業		17 (仮称)守谷SAスマートIC周辺地区都市計画見直し案作成業務
6 愛宕中学校屋内運動場改修事業		18 (仮称)守谷スマートIC整備事業
7 御所ヶ丘中学校校舎改修事業		
8 介護予防普及啓発事業		

【1】多胎妊産婦等支援事業 (新生児訪問事業)

重点政策①



【R4当初予算額 6,911千円】

区分	説明書
補助	P76

健幸福社部 保健センター

ふたごちゃん、みつごちゃんの育児を応援します。

育児負担の大きい双子や三つ子などの妊婦や多胎家庭を支援して、身体的・精神的負担の軽減を図ります。
多胎家庭にヘルパー等を派遣して、日常の家事や育児の援助を行い、妊婦やその家族の負担を軽減し、お子さんの誕生と成長の喜びを感じることができるよう応援します。

1 妊産婦健康診査事業

妊婦の健康状態と胎児の順調な発育を定期的を確認するために行う、妊婦健診費用の一部を公費負担しています。

多胎妊婦には、母子健康手帳交付時に妊婦健診14回分に追加5回分の受診券を交付して経済的負担の軽減を図ります。(追加分については令和4年度から開始)

2 多胎妊産婦等支援事業 【新規】

多胎妊婦や多胎家庭にヘルパー等を派遣して、家事育児に関する支援を行います。

- ①家事援助 子どもの食事の準備・後片付け、子どもの衣類の洗濯、子どもの生活必需品の買い物など
- ②育児援助 オムツ交換、沐浴介助、乳幼児の兄姉の育児など



【2】子育て世代包括支援事業

重点政策①



【R4当初予算額 10,718千円】

区分	説明書
補助	P93

こども未来部 のびのび子育て課

妊娠期から子育て期までつなげる支援の輪

子育て世代包括支援センターでは、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行っています。保健師・保育士等を配置して、相談支援や母子への育児サポート等を実施し、保護者の子育てに対する不安の軽減を図ります。

子どもが健康にすくすく育つよう、地域や関係機関が連携して支援を実施するために必要な情報を共有し、関係機関のコーディネートを行い、切れ目のない支援の輪をつなげます。

包括支援センターの窓口では、母子健康手帳交付時及び転入した妊婦の全員と面接を行い、支援プランを作成します。電話による健康状態の確認等を行い、妊婦の不安軽減に努めています。

また、出生届提出時にも面接を行い、ニーズがあれば関係機関との支援の輪を築き、産後ママのケアに努めます。

子育て応援助成券【新規】

タクシー又はもりやファミリーサポートセンターのどちらでも使える助成券（①②両方）を母子健康手帳交付時にお渡しします。（1枚700円分）

- ①妊婦用（5枚）→ 出産まで利用できます。
- ②産婦用（5枚）→ お子さんが2歳になるまで利用できます。



のびのび子育て

[3] オンライン英会話 (外国語教育推進事業)

重点政策①



【R4当初予算額 4,994千円】

区分	説明書
単独	P142

教育委員会 教育指導課

ネイティブスピーカーと生徒が1対1で英会話を行います。

外国語教育推進事業におけるALT（外国語指導助手）の全校配置に加え、令和3年度から導入した英語ネイティブスピーカーの講師と生徒が1対1で行うオンライン英会話により、新学習指導要領で重視される4技能（「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」）育成のさらなる充実を図ります。

併せて、GIGAスクール構想による児童生徒の一人一台端末を活用し、外国語教育の個別最適化学習促進を図ります。

1 対象学年

中学校第1学年～第3学年 約1,930名

2 実施内容

- ・年間指導計画に基づき、授業において、生徒各々がiPadを用いて単元末等の自己表現活動を行う。
- ・長期休業中等の家庭学習等において、教師の指示のもと、生徒がiPadや家庭のPC等を用いて課題として取り組む。

3 実施回数

- ・第1学年 年間3時間
- ・第2学年 年間7時間
- ・第3学年 年間5時間



オンライン英会話授業の様子

[4] フリースペース支援員配置 【新規】 (総合教育支援センター事業)

重点政策①



【R4当初予算額 10,536千円】

区分	説明書
単独	P145

教育委員会 教育指導課

中学校内適応指導教室「フリースペース」を設置し、支援員を配置します。

生徒の不登校に対する新たな支援として、適応指導教室での対応に加え、各中学校内に校内適応指導教室となる「フリースペース」を設置し、登校はしたいが、教室に行くのは難しいという生徒の居場所をつくり、家庭と学級のクッションとなることにより、不登校の解消を図ります。

フリースペースには、専属の支援員を配置し、不登校生徒の悩みや相談、学習支援を行います。

1 配置人数

4名（各中学校1名）

2 勤務日及び勤務時間

授業日 1日6時間

3 業務内容

- ・悩み相談 学習支援（オンライン授業参加への支援を含む）
- ・担任、教科担当及び家庭との連絡調整
- ・総合教育支援センターとの連携



フリースペースでの支援イメージ

【5】 御所ヶ丘小学校屋内運動場改修事業

【新規】

重点政策①



【R4当初予算額 17,270千円】

区分	説明書
単独	P126

教育委員会 学校教育課

安全・安心な教育環境の整備に努めます。

建築後39年が経過し、経年劣化が著しく進んでいることから、屋内運動場の大規模改修工事を行い、施設の長寿命化及び教育環境の向上並びに避難施設としての機能充実を図ります。

1 施設の概要

- (1) 建築年 昭和57年3月（建築年数：40年）
- (2) 所在地 守谷市御所ヶ丘五丁目15番地
- (3) 構造 鉄骨造
- (4) 床面積 760㎡

2 事業の概要

令和6年2月の完了を目標に、令和4年度に実施設計を行い、令和5年度に改修工事を行います。

* 改修工事の内容

屋根・内外壁・床改修，体育器具更新，多目的トイレ新設，照明LED化，空調設備の設置等



屋内運動場の外観

[6] 愛宕中学校屋内運動場改修事業

重点政策①



【R4当初予算額 424,637千円】

区分	説明書
単独	P130

教育委員会 学校教育課

安全・安心な教育環境を整備します。

建築後38年が経過し、経年劣化が著しく進んでいることから、屋内運動場の大規模改修工事を行い、施設の長寿命化及び教育環境の向上並びに避難施設としての機能充実を図ります。

1 施設の概要

- (1) 建築年 昭和58年3月（建築年数：38年）
- (2) 所在地 守谷市本町4325番地の2
- (3) 構造 鉄骨造
- (4) 床面積 1,279㎡

2 事業の概要

- 令和5年2月完成を目標に改修工事を行います。
- (1) 工事内容 屋根・内外壁・床改修，体育器具更新，多目的トイレ新設，スロープ改修，照明LED化，空調設備の設置等
 - (2) 工事期間 令和4年7月～令和5年2月



屋内運動場の外観

[7] 御所ヶ丘中学校校舎改修事業

重点政策①



【R4当初予算額 3,318千円】

区分 説明書
単独 P130

教育委員会 学校教育課

安全・安心な教育環境を整備します。

建築後36年が経過し、経年劣化が著しく進んでいることから、校舎の大規模改修工事を行い、施設の長寿命化及び教育環境の向上を図ります。

1 校舎の概要

- (1) 建築年 昭和60年3月（建築年数：37年）
- (2) 所在地 守谷市御所ヶ丘四丁目16番地
- (3) 構造 鉄筋コンクリート造4階建
- (4) 床面積 6,007㎡

2 事業の概要

令和7年3月完了を目標に、令和4年度に仮設校舎の建設、令和5年度から2年間で校舎の改修工事を行います。令和4年度予算では、仮設校舎及び敷き鉄板のリースに債務負担行為を設定し、改修工事に支障のある樹木剪定・伐採業務3,318千円を歳出予算に計上しています。

〔主な事業費〕

(1) 仮設校舎リース 142,426千円（R4～R7債務負担行為設定）

- 建物概要：鉄骨造2階建て、普通教室6、特別支援学級6、配膳室、トイレ等
- 建設工事：R5.4～R5.8（5か月）、使用期間：R5.9～R7.3（19か月）

(2) 校舎改修工事 1,050,170千円（R5～R6継続費設定）（予定）

- 工事概要：屋上防水、外壁改修、教室内装、昇降設備、受変電設備、給水設備更新等
- 工事期間：R5.10～R7.3（18か月）

(3) 敷き鉄板リース 11,270千円（R4～R7債務負担行為設定）

- 用途：仮設校舎の建設・解体及び校舎改修工事の車両進入路、給食配膳車進入路



校舎の外観

【8】介護予防普及啓発事業

重点政策②



【R4当初予算額 25,146千円】

区分	説明書
補助	P164

健幸福祉部 健幸長寿課

『あるく・しゃべる・たべる』大作戦 フレイル予防を楽しみます。

後期高齢者（75歳以上）の増加に伴い、要介護（要支援）認定者の増加が見込まれていることから、高齢者一人ひとりの生きがいや生活の質の向上を目的とした介護予防の取組が非常に重要となっています。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、高齢者の活動が低下しつつある中、楽しく参加できるフレイル予防事業を各地区で展開し、高齢者の活動量が向上できるよう取り組みます。

1 介護予防教室等の開催

- あおぞら運動教室（公園を活用した運動教室）
- フレイル予防（あした教室）を地域の集会所等で開催
- 運動機能向上を目的とした健康指導教室（運動施設に委託事業）
- シルバーリハビリ体操（シルバーリハビリ体操指導士会に委託事業）
- シニアクラブやサロン等に出張する出前講座

2 移動スーパーを活用したフレイル予防啓発

市内全地区を移動スーパーが巡回しています。（令和2年10月スタート）
移動スーパーにてフレイル予防チラシを配布するほか、ミニ出前講座を開催



公園を活用したフレイル予防教室

[9] まちづくり協議会推進事業

重点政策③



【R4当初予算額 37,141千円】

区分 説明書
単独 P53

生活経済部 市民協働推進課

地域・住民が地域づくりに取り組み「地域主導・住民主導による市民王国もりや」を実現します。

各地区に設立された「まちづくり協議会」が、住民，自治会・町内会，団体，事業者をつなげ，地域全体で地域の活性化や課題解決に取り組むことで，市が目指す「地域主導・住民主導による市民王国もりや」を実現することができます。

1 まちづくり協議会活動支援分野別交付金の拡充

令和4年度から，新たに「子ども食堂開設・運営分野」，「互助輸送分野」，「支え合い・助け合い分野」の3分野を拡充し，財政支援を強化します。



北守谷地区まちづくり協議会（くわがた亭）



みずき野地区まちづくり協議会（健康フェスタ）



地域の理想実現ミーティング

[10] 市役所庁舎増築・改修事業 (庁舎施設維持管理事務)



【R4当初予算額 63,310千円】

区分	説明書
単独	P30

総務部 管財課

庁舎の増築・改修工事を行います。

市民サービス向上に伴う業務及び組織の拡大等による執務スペースや会議室等の不足を解消するため、庁舎増築を行うとともに、建築後31年が経過し、経年劣化が著しくなった既存庁舎の改修と設備等の更新を行います。

1 事業規模 (予定)

▼増築

- ・延床面積 2,000㎡程度
- ・階数 地階及び地上3階
- ・構造 鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造

※増築の内容・規模等については基本設計の中で検討を行います。

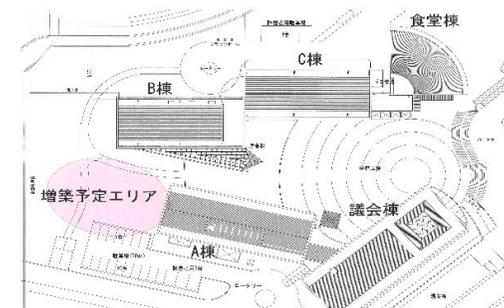
▼改修

エレベータ、受変電設備等の更新及び特定天井の改修等

2 事業スケジュール (予定)

令和3年度及び令和4年度の2箇年での基本・実施設計
令和5年度から令和7年度の3箇年で工事

守谷市役所



【11】 おくやみ窓口事業 【新規】 (住基・戸籍事務)



【R4当初予算額 2,367千円】

区分	説明書
単独	P40

生活経済部 総合窓口課

遺族が必要な手続きのワンストップサービスを始めます。

市民の方がお亡くなりになった際に、必要な市の手続きを遺族の方がワンストップで行えるよう「おくやみ窓口」を開設し、手続きの不安を解消するとともに、複数の課を訪れる手間や時間を削減します。

1 開始時期・場所

令和4年6月から 総合窓口課前廊下に設置

2 実施方法

- ①亡くなった市民の死亡届を守谷市に提出したご遺族に、市役所で必要な手続きを後日通知
- ②事前予約受付（平日9時から17時までの間で4枠）
- ③ご予約当日は、各課の手続き担当職員が入れ替わりで対応（10課）

3 利用見込件数

年間平均死亡数440人の5割を見込み220件



おくやみ窓口のイメージ

【12】DX（デジタルトランスフォーメーション）推進事業 （庁内ネットワーク運営管理事務）

重点政策④



【R4当初予算額 53,620千円】

区分	説明書
単独	P23

市長公室 デジタル戦略課

守谷市DX推進計画に基づき、デジタルトランスフォーメーションの取組を推進します。

守谷市DX推進計画に基づき、「スマートデジタル王国もりや」の実現に向けて、市民の皆様の利便性向上や行政のデジタル化・効率化を図るための様々な取組を強力に推進していきます。

1 市民データ利活用DWH（Data WareHouse）構築【新規】

LGWAN上に市民データ利活用専用のDWHを構築し、データ収集・蓄積・分析をワンストップで実現することで、市民ニーズを探し出し、個別最適なサービスを提供します。

2 Morinfo機能強化

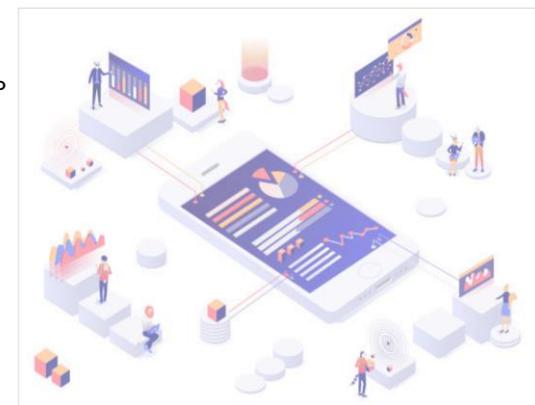
MorinfoとDWHを連携させるなどの機能強化を図り、Morinfoを基軸とした市民への個別最適なサービスを提供します。

3 DX推進サポート業務委託

DXに関する専門知識を持つ業者の常駐、サポートにより、守谷市DX推進計画に基づくシステム導入や業務・組織改革などのDXへの取組を強力に推進していきます。

4 RPA（Robotic Process Automaition）・庁内チャットボットシステム導入【新規】

RPA・庁内チャットボットシステムの導入により、行政の業務効率化やスピードアップを図ります。



【13】 自立・分散型エネルギー設備導入促進事業 (環境啓発推進事業)

重点政策⑤



【R4当初予算額 1,500千円】

区分	説明書
補助	P32

生活経済部 生活環境課

家庭用リチウムイオン蓄電池の設置に対して補助金を交付します。

再生可能エネルギーを利用して充電ができる家庭用リチウムイオン蓄電池を設置した世帯に対して、予算の範囲内において補助金を交付することで、再生エネルギーの有効利用と災害発生時の非常用電源の確保を図ります。

1 事業概要

蓄電池は、太陽光パネルで発電された電気を充電して繰り返し使用することができる機器であり、節電や二酸化炭素発生の抑制が期待されます。また、災害等で停電が発生した場合の非常用電源としても活用できます。太陽光発電施設を設置している家庭又は新規に太陽光発電施設を設置する家庭において蓄電池の導入に対する補助金を交付することで、普及の促進を図ります。

補助件数：30件

補助金額：1設備 50,000円

※国・県等の補助金・助成金を受けている世帯を除く。

2 財源

茨城県自立・分散型エネルギー設備導入促進事業費補助金

補助金額：1設備 50,000円



家庭用蓄電池

[14] 避難施設整備運営事業

重点政策③



【R4当初予算額 325,060千円】

区分 説明書
補助 P57

生活経済部 交通防災課

水害時の逃げ遅れを防ぐとともに、避難所環境の向上を図ります。

ハザードマップを改定，全戸配布し，逃げ遅れのない避難体制の充実を図ります。
また，防災資機材の入れ替えを適正に行い，さらに，空調設備（非常用電源付き）の設置工事を実施します。

1 防災ハザードマップ作成

令和3年5月に災害対策基本法の一部を改正する法律が施行され、「避難勧告」と「避難指示（緊急）」は「避難指示」に一本化されました。さらに，鬼怒川の避難判断等の水位が変更されたため，ハザードマップを改定し，全戸配布します。

2 体育館空調設備設置工事【ふるさとづくり基金・起債を活用】

市民の皆さんが避難所への避難を余儀なくされた場合，避難所の生活は健康に大きな負担がかかることから，避難所となる公立小・中学校の体育館の空調設備や非常用電源設備の設置工事に着手し，避難所環境の向上を図ります。（本年度5校）



現・ハザードマップ

[15] 消防施設整備事業



【R4当初予算額 71,597千円】

区分	説明書
単独	P62

生活経済部 交通防災課

消防団機械器具置場兼詰所を建設します。

老朽化した市内消防機械器具置場の建て替えを実施し、消防団の体制の強化を図ります。
本年度は、立沢地区・第11分団の消防小屋の建て替えを行います。

1 消防機械器具置場兼詰所建設工事

老朽化した市内消防機械器具置場に、災害時等の待機に対応するため機械器具置場に詰所を加え、建替え工事を行います。本年度は、昭和60年に建築した立沢地区の第11分団の消防機械器具置場の建替え工事を実施します。

また、今後も建て替えを進めるため、用地買収を進めていきます。

※延べ床面積：69.24㎡（予定）



消防機械器具置場（第13分団）

【16】交通安全施設整備管理事業

重点政策①



【R4当初予算額 8,032千円】

区分	説明書
単独	P56

生活経済部 交通防災課

通学路の安全点検や危険箇所への対策を行います。

交通事故を未然に防止するため、危険箇所への交通安全施設の整備と適切な維持管理を行い、歩行者や自転車等の安全を確保します。

1 交通安全施設工事【交通安全特別対策交付金を活用】

自治会・町内会からの要望や警察との協議により、安全施設を危険箇所に設置します（カーブミラー、路面標示、車止めポール等）。

特に、児童・生徒の通学路及び保育園児の散歩コースの安全対策を重点に実施します。



路面標示「学童注意」

[17] (仮称)守谷SAスマートIC周辺地区都市計画見直し案作成業務 (都市計画庶務事務)

重点政策⑤



【R4当初予算額 11,913千円】

区分	説明書
単独	P106

都市整備部 都市計画課

土地区画整理事業による産業系土地利用を推進します。

常磐自動車道守谷サービスエリアに設置検討されているスマートインターチェンジや都市計画道路供平・板戸井線の整備と整合を図り沿道の環境や景観に配慮し、農業及び周辺環境と調和する計画的な産業系の土地利用を進めていきます。

1 都市計画見直し案の検討

土地区画整理事業の実施に合わせ市街化区域編入や用途地域等の都市計画見直し案を作成し、令和5年度の事業化に向け都市計画決定（変更）の協議を行います。

2 地区概要

地区面積：約60ha

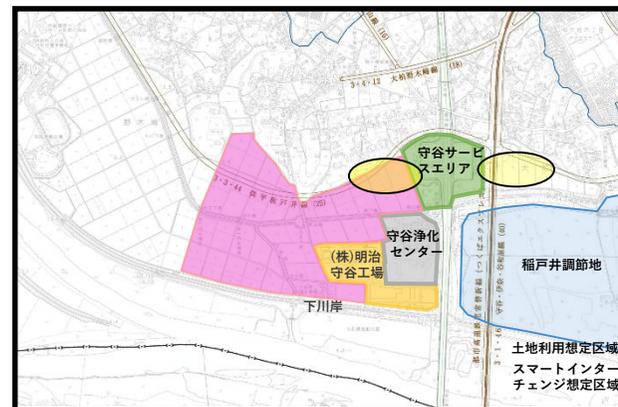
地権者数：145名

事業開始：令和5年～（予定）

事業手法：市街化区域編入，土地区画整理事業

事業運営方式：組合施行・業務代行方式（予定）

用途：産業・業務系の複合（予定）



土地利用区域図（予定）

[18] (仮称) 守谷スマートIC整備事業 (市道整備改良事業)

重点政策⑤



【R4当初予算額 22,000千円】

区分	説明書
単独	P115

都市整備部 建設課

快適な道路ネットワークを実現します。

守谷サービスエリア周辺企業の物流の効率化や市内の渋滞軽減など、市内の交通の利便性が向上し、人の流れや物流に大きな効果が期待できます。また、周辺の土地区画整理事業との整合性を図り、土地利用を推進します。

1 (仮称) 守谷スマートIC整備事業

関係機関との調整を行い、詳細設計を実施します。



守谷サービスエリア周辺状況